

幼児、小学生が対象の科学体験講座を行い、16の体験ブースを展開した 美作サイエンスフェア実行委員会

活動の目的

理科・科学体験の場が少なかった美作地区で、幼児や小学生を対象にした科学体験講座を行い、理科・科学に興味を持つ子どもたちを育成、また増やすことを目的とした活動である。津山高校を中心とした高校生ボランティアの協力を得ながら運営している。運営に関わる高校生の中から、教員を目指して、理科好きの子どもを育てていく津山地域の文化や教育基盤をはぐくみ、理科・科学好きを生み出す文化的土壌の醸成も目的として活動している。

活動の内容及び経過

美作大学を会場にお借りして、9月28日（土）に第7回美作サイエンスフェアを行った。今年度は16のブースを出展し、美作地区高校教員を中心に科学体験講座を実施した。今年度も300人を超す来場者で、13:00から16:00までの3時間ではあるが、多くの体験を子どもたちに提供した。2017年度にも貴財団からの助成をいただき、青少年のための科学の祭典 in 小金井の視察を行ったことで今回の美作サイエンスフェアの充実にもつながっている。材料費を各高校持ち出しで始めたイベントであったので、今年度も助成を受けることができたことで、活動の充実を図ることができた。

活動の成果・効果

7回目を迎え、美作サイエンスフェアの津山地域での認知度も上がり、毎年楽しみにしているという感想もいただいている。また、美作サイエンスフェアの科学体験に参加していた小学生や中学生の中に、津山中学・津山高校をはじめとする美作地区の学校に進学し、今度はボランティアとして美作サイエンスフェアの活動に関わる生徒も増えてきた。これも活動を続けてきた成果の1つであると考えている。今年度も助成のおかげで青少年のための科学の祭典 in 小金井の視察を行うことができ、新たなアイデアや取り組みのヒントを得ることができ、活動の充実に大きく役立った。美作サイエンスフェアを魅力的なものにするために、一定の体験内容の更新も必要である。そのアイデアや準備のための予算があることで活動が充実してきているのは助成を受けた効果である。高校生たちへの成長にも効果があると思われ、教育学部進学を考える高校生たちも、ボランティアとして参加してくれている。ブースを出展してくれている高校教員からも、ボランティア活動の中で生徒が大きく成長しているという声が聞かれ、高校生にとっても活躍の場となっている。第1回、第2回のサイエンスフェアにボランティアとして参加してくれた高校生の中に、小学校の教



員や、中学高校の理科の教員になる卒業生が現れてきた。津山地域に理科好きの子どもたちを育てていくために、このような教員になる人材が出てきてくれたことも効果の一つであろう。これから、この教員になった人たちが理科好きを増やす活動に関わってくれるよう、働きかけていきたい。

今後の課題と問題点

前回、貴財団から助成をいただいた頃から、ブースの内容を少しずつ入れ替えることができ、内容の充実を図ることができている。現在、美作地区の中でも津山地域を中心にした活動をしており、美作地区全体への広報活動ができていないことが課題の1つであり、方法を考えていきたい。子どもたちに理科・科学に対する興味を持ってもらうという点では一定の効果を上げてきた。今後、ボランティアとして関わってくれた中高生たちが、大学生や社会人になって美作サイエンスフェアに関わってくれるよう、教職に興味を持つ高校生も出てくるような取り組みに発展させていきたい。サイエンスフェアに関わった卒業生で小学校、中学校の教員に採用されたものも複数名出ている。この取り組みをどう継続していくか、継続のための安定した財源の確保も課題として残る。

- 代表者：國定義憲 ●所在地：津山市椿高下
- TEL：0868-22-2204
- E-MAIL：yoshinori_kunisada@pref.okayama.jp
- 設立年：2013年 ●メンバー数：30名